映姫
reunion
02
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
MISOKA FUMIZUKI
◇文月晦日◇
Circle rukiruki-EXISS Presents

FF嫋reunion02

アバランチ時代にうまれた多額の借金の請求を迫られた私は
あの若い男に言われるまま
皆に内緒の『副業』をする事で返済しようと
蜂蜜の館へと赴く

付いた早々オーナーの部屋行くよう言われる
どうやら接客に入る前にオーナー直々の指導があるらしい

指導･･･と言えば聴こえは良いが何の事はない

ただの･･･『新人の味見』だ

…あの日以来
結局 借金返済の
目処が立たないまま
『蜜蜂の館』の門を
叩く事となった

あれ？

ニヤ
ニヤ

いやいやティファちゃん
待ってたよぉ
おじさん待ちきれなくて
服全部脱いじゃったぁ

この男 以前から頻繁に
「センプンスヘヴン」に来て
いた常連だった
どうやら蜜蜂の館の新しい
主人らしい

…すみません

ぷるっ

たぽん

あの…
一応言われた通り
の衣装で来ました
けど…

ぷる

たぷっ

ムチ

これで良かった
でしょうか？

ムチ

スッ

うんうんそれそれ
いいよいいよぉ
やっぱティファちゃんは
その衣装が良く似合う
よぉ

ギッ

今日は面接って事になってるけど おじさんティファちゃんの事はセブンスヘヴンで見てたし

Lんっ

Lん

即採用でもいいんだけどねぇ 他の子達への示しもあるし

・・・

・・・はぁ

で 何か試験のようなモノでも？

実際にお店で働く前に私がチェックする・・・ただそれだけの事だよぉ

きゃっ

こっちも良い臭いをさせてますねぇ

スハッ

ぐにっ

それにこの引き締まった肉感は見ると触るとでは大違いだ

ムニッ

ぐっすめ～る！
ぐっすめ～るだよぉ
ティファちゃぁん♪

ちょ

びくっ

くん

くん

ツル

ぎゅ

スーハー

あくっ

ぎゅぅ

んっ！

このぷにぷに感も
たまんないねぇ
やっぱティファちゃんは
おじさんの思ってた
通りの子だよぉ♪

ティファちゃん
おしっこプレイも
出来るんだって？

スーハー

はぁ…このおじさんもやっぱただの変態か

あっ

くんっ

…いえあれは
あの時たまたま…
その…したくなった
だけなので…

それは残念
ではちょっと
こっちを向いて
もらえるかなぁ？

ガッ

レロ
レロ
モミュ
ぐいっ
何となくこうなる事は予想してたし後は言い成りになってればよいんだ
…これもちゃんとお金でればよいけど…
んっ
おふっ
レロ
ペチャ
ペチャ
レロ
レロ
……ん？
あっ！ちょっと
ヌロ

何を飲ませたのよっ！

いっ…今何を！

今からするお注射の痛みを和らげるちょっとした麻酔さぁ

怖がらなくていいんだよぉ

ぴゅる

ぴゅ

ドクッ

うくっ!!

身体の力が抜けていく…バラバラにでもされるんだろうか？借金が膨大すぎて別の意味で身体を売るハメに？

はっ

はっ

ドクッ

はっ

しっ…死んだら真っ先にクラウドの所に化けて出てやるんだからっ！

……やっぱバレットにしとこ

ピッ

実はおじさんこう見えても昔は神羅の薬学部門の主任でねぇ色々なクスリを調合しては実験してたんだよぉ

最近は普通のセックスじゃ物足りないってセレブが多くてねぇ
コトッ
そんな需要に応えて一時的に肉体を改造する薬を研究してたんだよぉ
はっ
ビクン
ぜっ
うくっ
ビクン
ビクン
ゲホッ
死んだりはしないよ むしろ痛みの後に 来るのは 未知の快楽さ♪
ぜっ
はっ
胸が…… 苦しい
ギリ
メリ
はっ
うっ
メリ
はっ
…何かが 何か体内から 込み上げて来る！
んなっ！
ばいんっ
ぷくっ
ぶりゅん

胸が…こんな…
しかも身体全体が…
神経全体がどんどん
研ぎ澄まされて行くの
がわかる…！

はぁ

それに下半身が…
アソコが燃えるように
…熱い！

はぁ

はぁ

ひクッ ひクッ

ビクッ ビクン!!

…っ！

何これ？

ひ

ぶるぁ

ぶぁ

いやぁぁぁ
ああああ
ああああ
ああああ

どうだい
ティファちゃん
未知の快楽の味は

ひゃふ

ブブブブ

ヒク

ヒク

ヒク

身体全体が性感帯の
塊と化し　更に未知の
快楽を得た私は
拒みつつも溺れていく
のがわかった

おちんぽシコシコ
されるのって気持ち
良いだろう？

肥大化した胸と
おしりと
おまんことと
おちんちんと…

ひゃぐぅ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ギリ

ふぁ

はぁ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

それぞれが
それぞれの絶頂を迎え
その度に気絶をしそうになる
まさに『絶頂スパイラル』

ひゃぁぁぁぁ！
いくっ！
全部イクぅ
ううううう
ううううう

びゅっ
びゅる
モニュ
ムニ
びゅっ

次は何処なの？
もぅ何処がイクのか
わからないよぅ！

ドピュ
ドピュ
ドピュ
ブイイー

わずか三十分ほどで
効果の切れたこの快楽を
忘れられず　私は
この日からほぼ毎日の
ようにセレブたちの
相手をする事になる

ひ・・・
ひもちぃぃ

ポ〜

あひゃ

借金返済は
始まったばかりだ

此処は六番街スラムの
ウォールマーケットに
店を構える
『蜜蜂の館2号店』

普段 神羅で運輸事業に
携わっているボクは 今日
ある目的を達成する為に
この店を訪れた

その目的とは

彼女に…

筆下ろしをお願いする事

彼女がこの店で働いているという情報は職場の同僚からだった

情報に半信半疑ではあったものの…まさか本当にこの店で会えるとは

ボクは以前から『セブンスヘブン』のティファを知っていた

仕事が休みの日に七番街スラムまで足を運びそこで何度か酒を飲んだ事もある

お客様…此方になります

完全に一目惚れだった…

蜜蜂の館ではクラウディアと言う源氏名らしい

どんな理由でココで副業をしてるのかといった謎にも興味はあったが…それ以上に25年間 彼女のいない僕にはその『初めて』を捧げる絶好の相手が見つかった喜びで一杯だった

初めてである事を
伝えるとティファは
優しく微笑んで
丁寧に『仕事を』始めた

おちんぽに一杯チンカスが
溜まってますよ
綺麗にしてあげますね♪

レロ

パク

あっ…まだ
そんなに激しく
シコシコしない
…で

ちんぽにキンタマ
更にはアナルまで
彼女の徹底された
舌技には一切の
手抜きが無かった

あっ

ウホッ

あっ

ちゅぱ

ペロ

ペロ

スゴっ

そして彼女の口蓋垂にまで
達するディープスロートは
仮性包茎のボクのちんぽを
何度も絶頂に誘いそうに
なった

んふっ

ムニュ

んっ

ムニュ

んっ

ぐぢゅっ

んっ

ぐぢゅっ

そして…

スッ

今度は私のおっぱいで挟んであげますね

覚悟してください♪

レッ

最・強・兵・器(アルティマウェポン)!!!

過剰に反応するボクのちんぽから少しでも意識を遠ざける為に

ティファのおまんこにむしゃぶり付く

ぎしっ

はじめての女性器…！

ひあっ

しゃっ

しゃっ

お客…さまっ

そんなにちゅぱちゅぱしちゃ

ぎしっ

いやぁ

ぎしっ

それが憧れの女性であれば　これほど最高の筆下ろしは無い

わっ　わた…し

ドッ

ぎしっ

気持ち良くてっ

ぎしっ

腰が勝手に

ドッ

ドッ

ぶっ

ぶっ

はぁ

はぁ

はぁ

お客さまのぶっとい
おちんぽっ

私の…
おまんこに

股を開き
おまんこを指で
広げながら

腰をクネらせ
おねだりをする
ティファに

びゃ

びゃ

びゃ

ついに…！

はっ…
ふあああ

ボクの初めてが…！！

パーン

頭が真っ白に
なりながらも

もっと
激しっ

激っ…
しっ！

パーン

パーン

おまんこっ

パーン

掻き毟っ
てぇ！

ただひたすらに
力強く
腰を振った

…情けない事に

今までの
我慢が嘘のように

わずか25秒で
力尽きた

それから1週間
ボクは蜜蜂の館に
通い続けた

仕事がある日も
片道1時間の道程も
まったく苦には
ならなかった

そして1週間目のその日
店の入り口に居た厳つい男に
裏メニューである
ティファの衣装オプションの
存在を教えてもらう

裏メニュー…
それは紛れも無く

モジ

モジ

セブンスヘブンで見た
あの衣装だった

あっ

ちゅ

ちゅ

ハム

ハム

この1週間でSEXが
上達したと自負して
いたボクは

お客さま
そろそろ
私が…

ぐっ

衣装の興奮も相俟って
最初から激しく指で
責め立てた

んっ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

はぅ　あんっ
あっあああっ！

ふぁ

びゅ

ぴゅ

あっ

びゅ

ぴゅ

また
噴いちゃう

モミ

くちゅ

ひぎっ
やあぁぁぁっ

彼女の反応が
いつもと違う事に
気付かないまま…

くちゅ

くちゅ

びゅる

びゅ

びゅ

何度も
何度も
はっ
びくん
ちょっ
お客さ
はっ
びくん
やめっ
もういい
はっ
やだっ
やぁああ
ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
ティファが絶頂と共に大量の潮を噴く事に悦を感じていた

そこは
びくっ
やめてって
言ってるのにっ
びくっ
くぢっ
ぷっ
ぷぢ
また
噴いちゃうからぁぁ
びゃ
びゃ
びゃ
ぷしゅっ

興奮で我を忘れたボクは

ほぁ

ほぁ

幾度の絶頂で抗う力を無くしていたティファに

ムンッ

ムンッ

ツダッ

避妊具を着けないままゴムを

びくん

挿入！

ズボッ

ふひぃ

ゴっ

はっ

はっ

ん、

ん、

ムっ

ズッ

ズッ

ん

着け

ズッ

ぬっ

はっ

ぬっ

てぇ

ぬっ

びゃ

びゃぶ

ひっ

ひっ

ひっ

ひっ

ひっ

ひっ

ガくっ

ガくっ

ガくっ

らめぇ

あがっあがちゃんっが

ムニゅ

出来ちゃうからぁああ

びゃ

ぬぶっ

ぬっ

ぬぶっ

ぷるぷる

そのまま

どくん
どくんって

ぷる

ビクッ

ビクッ

中に…

ビクッ

熱いのが

ぶるっ

膣内に

ぶるっ

わらひの
おまんこに
れてるぅ
ううう

ドクン

興奮が収まり
冷静に自分のした行為を
振り返ったボクは後悔と
自責の念にとらわれた
…が
完全に後の祭りだった

部屋を出ようとしたボクを
黒服を着た体格の良い
お兄さん達が取り囲む

ボクは顔の原形を
留めない程に
ボッコボコに殴られ
有り金を全て
巻き上げられて
しまった

すいませーん
蜜蜂の館から派遣された者ですけどー

はっ

はっ

はっ

ザッ

クラウドのやってるデリバリーとは全然違うけど…
いつもの3倍のお金が出るって聞いたから迷わずOKした

中に入るとすぐに年老いた執事の人が現れ この大きな屋敷の主のもとへ案内してくれた

えっと・・・これでよろしかったでしょうか？

ぐっ

バサ

挨拶を適当に済ませ私は指定のあった『いつものコスチューム』を披露する

ん～結構結構噂に聞いていた以上じゃないか…なぁ？

ニヤ

ニヤ

左様でございます

よし！早速楽しませて頂こう

おい
腰を持ち上げて
抑えていろ

あっ

ぐいっ

かしこまりました

金持ち特有の
見下した視線は
気になったけど

ちょっと

ギッ

それ以外は至って普通
みたいだし…
今日の仕事は簡単に
済むかも

ムニュ

ムニュ

ぷるっ

はっ！

ぷるっ

ギッ

あぁん

やぁっ

はぁ…

こう言うセレブ相手は
媚びたセリフを言うだけで
興奮したり喜んでくれる

びくんっ

レロ
レロ

くちゅ
くちゅ

んぅ…

はぁっ！

ザッ
レロ
ヒュッ

胸…

ちゅう
ちゅう

ニュ

くちゅ

もっと舐めて…
もっと弄ってください！

ぐりっ

うぐっ

はは　自分だけ気持ち
良くなるなんてズルい
じゃないか
私も楽しませてくれ

本当は早くイかせて
さっさと帰りたいのだけど
その為にはいくつか手順も
必要だ

最初は『フェラチオ』
男性器を上から下まで
丁寧に愛撫　刺激しつつ
男の優越感をも刺激する

うふっ

はむぅ

たぷっ

んくっ

はぁ

くにっ

レロ

レロ

んぁ…
あふぅ

あぁ…気持ちいい
もっといっぱい…
しゃぶってくれ

大抵の場合
刺激が強すぎて
権力者の本性が
剥き出しになる

ひんっ

ぐぷぷ

あぁ！いつまで
のんびりしゃぶってんだ

ちゅぶぶ

うぐっぷぷ

ちゅぶぶ

んんっ

もっと激しく！
根元までしゃぶるん
だよっ！

んがっごうううう
んぼんぐぐぐっ

ひゅんぐうううう
うんんんん！

んんんんっ
がしっ
んっ
ドクン
ドクン
んっ

そのままだ
出すなよ
うぶっ
そう・・・
ドロ
舌を使って
ゆっくり転がすんだ

目で懇願しつつ
震えながらも
美味しそうに飲み込む
うっ
ゴクッ
ぶるっ
ポタ
ポタ
うっぷ
ぶるっ
モッ
モッ
ふふっ よぉし
おりこうだ
何度飲んでも
美味しいと感じた事は
一度も無いけど・・・

次にパイズリ

れろっ

れろっ

こっちを見ながら
しゃぶってくれ

んっ

こうやって上目遣いで
先っぽを咥えながら
するのが人気らしい

ズリュ

ムニュ

はもっ

ズリュ

んぐぅ

ギュ

今度はこっちが動いてあげよう
ぐいっ
パイズリも自分で『する』のと『される』のでは違ってくる
馬乗りになって『される』のはおっぱいを犯されてる気分になる
え？ あっ…おっぱいの間から
おちんちんが…出たり…入ったり…してます
ズボッ
ズボッ
ズボッ
凄く気持ち良いからもう回復しちゃったそろそろティファちゃんの中に入っちゃおうかな

さぁいくよ

ぬぶっ

言葉で相手を喜ばせつつ
相手のおちんちんを休まず
ぎゅうぎゅうに締め付ける
…大抵のセレブはこれで
5分と持たない

っうぁあ

ギッ

おおぉ
膣内も最高に具合
が良いよ

はっ あぁ

ぐぐっ

あっ…すっごい
締め付けて…くるっ

ギッ

あっ！
気持ちっ

っひっ
あぁっ

パン

ヌップ

ヌップ

ギッ

パン

いいですっ
かっ？

もうっ…
我慢できんっ！
膣内でっ！

ぐっ

ぐぽ

あっ ちょっ
まってっ！

ぐぽ

ヌッ

ヌッ

最後はお口で
しますからぁっ！

避妊具を着けないで膣内
射精するのもセレブの
ステータス…らしい

ふぁ
ああっ

ドクン

あっっぅ
ああああ

ドロロッ

ゴポ

コポ

えっ？

まだ…するのっ？

ムニュ

たぷっ

たぷん

たぷ

一回っ休まっせてぇ

ふひひっ ボクの精液でぬるぬるのぐちょぐちょだぁ

赤ちゃん出来ちゃうかなぁ？

このまま膣内で犯り続けて完璧に受精させちゃおうかな

ゴクッ

シロ

モミッ

モミッ

い…いやぁ…

その前にこっちの具合も確認っと

ひっ

ぎしっ

ムニッ

ズッ

おひっ おっ お尻はだめですっ

蜜蜂の館で支給されてる神羅製避妊薬のお陰で赤ちゃんは出来ない…らしいんだけど…ね

くぱっ

みちっ

みちっ

ドロ

ぎしっ

パン

いっつぁ

ぎしっ

パン

ぎしっ

ひぎっ

パン

ぎしっ

やぁ

その点避妊の心配の無い、アナルセックスは楽だ…もう慣れちゃったし

あついく
いくううう

おしりの穴で
いくうううう
うううううう
うううう！

この館の主のタフさには
少し驚いたけどそれでも
想定の範囲だった
…もうじき終わる と

しかし本当の宴は
これからだった

― 満足した主人はその晩、私をディナーに招待してくれた。

予め今日はお店を休みにしていたのだけれど
マリン達のことも心配だし、出来る事なら
さっさと帰ってしまいたかった。

どうしてもと誘う主人の嘆願に
多額の報酬故に今後もお世話になりえるお客に対して
無碍にも出来まいと、仕方なく夕食をご馳走になる。

豪華なご馳走とおいしいワインがほんのり心地よく
ひと時の幸福を得た気がした。

それでもどこかにクラウドや孤児達への後ろめたい気持ちが
酔いを急速に醒ませてしまう。

・・・そう。酔ってはいないはずだった。
そろそろ帰ろうかと席を発とうとした瞬間
目の前が一瞬真っ白になり
私はそのまま気をうしなってしまった。

薄暗い部屋で手足を縛られ
下着を剥がされ　性器を
剥き出しにした状態で
私は目を覚ました

…っえ？
あっコレは！

おはよう
気分はどうだい？
ティファちゃん

カリ

なんでっ
もう依頼分は
働いたハズじゃっ

ぎゅ

早速で申し訳無いんだ
けどこれから　もうひと
仕事してもらうよ

ガタ

やっだぁっ ちょっ ダメぇ

ぶる

グイ

力をお抜きください

お願いです やめさせてください

ギシ ミシ

ヒク

ヒクッ

それでは 参りますよ

ズッ

プ

くぅ

ビク

あうぅっ

んぁあぁっ 入って… くるぅ

ガタン

ぶる

んぐ

ぐぐっ

立派な『モノ』を出すにはしばらくお腹の中で我慢しないとダメなんだよぉ

この主のもうひとつの顔…気に入った女性の排出する糞尿を好んで食べる『糞尿グルメ』としての顔

くにっ

たぽん

たぽん

ぐぶぶぶっ

ブピッ

さぁぁ しばらくフタしとこうねぇ

ぐぅ

ぎゅるるる

おっ…トイレにひいいがっ…いがせてくださ・・・いい

コトッ

さぁココにいっぱい出したまえ

オル

もうだっ…

あっ あっ あぁぁっ でるぅあ あ あぁ あぁ ああっ

ビュビュビュビュ

― 最後の箍が外れてしまった気がする。

今では当たり前となっていたフェラやパイズリやごっくん。
膣内射精もアナルセックスも気にしなかった。
でも人前で糞尿を垂れ流す行為だけはどんな事があっても
するまいと決めていたのに。

崩れかけの羞恥心の箍までが外されてしまった。

美味そうに私の出したモノを口に頬張りながら主人は
ひとつの提案をする。
蜂蜜の館を辞めこの館の『専属娼婦』となる話だった。
もはや失うものの無い私は更なる多額の報酬を求め
この館の主を自らの新たな雇い主とした。

これからは主と、その客を喜ばせる日々が始まるのだ・・・

主の招く客の中には
セブンスヘブンの常連
も何人か居た

あっ待ってぇ

順番にっ…

ぐっ

ずっ

ぐちゅっ

ティファたぁん
今日はいっぱい
楽しませてねぇ

ニヤ

ニヤ

ムニュ

ムニュ

ムニュ

蜜蜂の館で支給された
避妊薬はもう無い
しかし主の客はそんな事
構わずに膣内射精する

今日もなかだし
OKだよね？

ぐっぷ

ずりゅ

ぷぎゃっ

ぷぎゃう

モミ

ムニ

モミ

ムニ

おふ

うん

昨日は…
たしか10回かな
一昨日は多すぎて
数え切れなかった

借金の事は
日に日に記憶から
薄れていった

おいティファ
いつまで寝てるんだ
次のお客様だぞ

ジャラ

ピクッ

…

んっふふふふ
えぇぇぇぇ あの薬
投与済みですよ

あとはそちらで
どう苛めるか
お好きなように

さぁ ティファ
次のご主人様に
ご挨拶しなさい

ジャラ

借金を払い終わったら
私には何か残るだろうか…
こんな私を『約束の地』はまだ
向かいいれてくれるだろうか…

…よろしく
お願いします

ゴゴ

私でいっぱい
射精してくださいね

ビク

ビク

FF嫋reunion02

まもなくー
3番線ホームより
電車が…
ろうろ
今日は久しぶりの
出張サービスの
お仕事です
場所は廃線
本来は使われて
いない鉄道の駅
えーっと
指定されたホームへ行き
指定された場所で
クライアントを待てば良い
って聞いたけど…
…にしても
セレブの道楽で動く
電車だなんて…
お金…有る所には
有るんだね

ズイ

サッ

ガタン

あ……

……来た

ガタン

あっ

ちょ

やる事は至って簡単

『プレイ』の場である走る電車の中で痴漢を強要される…まぁそれだけじゃ済まないだろうけど

ガタン

…やめてください

モミュ

モミュ

ガタン

ガタン

でもまさかクライアントが複数人だとは思わなかったなぁ…

…まさかこの車両全員と……？

はっ

はっ

とにかく私は指示通り痴漢された「フリ」を続ける

もう おちんちん 我慢できないよぉ

！

ムリュ

ぐっ

パイズリして パイズリ

痴漢プレイ自体 さほどの時間は 要さなかった

ボクはお口で お願いね

はい

客の1人が私の 胸を露出する のを合図に…

ふひょひょ ソコソコ

レロ

レロ

玉も竿も しっかり ねぶってぇ

いつも通りの乱交

すぐにこうなるなら 場所は別にココじゃ なくても良い気が するんだけど…

はひっ はひふぁ ふぉう

カポ

カポ

ほひー ほひー ワキズリたまんね！ ティファたん最高！

モニュ

モニュ

ズニッ

ズボッ

ね～ 早く 変わってよぉ

本当は早く済ませて帰りたかったんだけど中々挿入しようとしないクライアントに

カタン

は…早くティファのおマンコに…

ぐちょぐちょになったティファの汚れたおマンコを

ぐぱっ

お客様の精液で洗い清めて下さい

カタン

喜びそうな卑猥な単語をずらりと並べて『おねだり』をして催促すると

面白い位 素直にみんな真剣な顔で私に挿入し始めた

ぶんっ

ぶりゅん

結局この車両の全員を相手に

体とスキル全てを使って

ティファたん出すよ！

せーえき♪せーえき♪

うっ！

ぬぽこっ

ぬぽっ

ギュ

ギュ

ギュ

終点までご奉仕した

もっとせーえきぶっかけてぇ♪

[redacted]

客は満足そうに私に笑みを見せ電車を後にした

プシュー

…私の借金返済の旅には終着駅が存在するのだろうか

はぁ

はぁ

はぁ

……はぁ

ビク

ビク

○月×日
今日はセブンスヘブン
貸切の『特別日』です

本当は自分のお店で
こんな事したくないんだけど
どうも常連客たちは私が日常を
過ごすこの場所でのプレイが
以前からの夢だったらしい

ふぁ

がしっ

くいっ

幸いバレットは
マリンを連れて旅行中
クラウドは…
いつも通り居ない

ぷりんっ

くっ

プレイ前に大量のお酒を
飲まされた私は接客も
ままならない状態で
衣服を剥ぎ取られる

おひゃ…
おひゃくさま
今日はいっぱい

くいっ

クイッ

てぃふぁの身体を
可愛がって
くらふぁい

ぶるりんっ

お酒で意識の朦朧とした私をお客達は代わる代わる様々な体位で犯し始める

あっ

ずっちゅ

ズッ

んぁ　激しっ
ていふぁの…
ていふぁのおまんこで
いっぱい精液出してぇ

ずっちゅ

ちゃぢっ

ズッ

ひひっ
わかってるよぉ
今日の為に1週間
オナ禁してるよぉ

ぢゅっ

ズッ

ムニッ

身体の自由が利かない
私に出来る事は
淫猥な喘ぎ声をあげて
お客の満足度を高める
くらいだ

ひっ

ケツまんこぉ良いよぉ
もっとしてぇ
ガバガバになるまでっ

ひっ

ズッ

使える『部位』を
次々塞いでいき

ずっぽんっ

ズッ

ふっ

ぬっ

ズッ

ぬっ

ビュルルル

中だろうが外だろうが
所構わず射精を繰り返す

はひっ

ティファちゃんっ
精液っ　全部っ
全部飲んでっ！

ブッ

——2時間後
全身をドロドロにされた
状態で大量の精液の入った
ジョッキを手渡された私は

すぺるま…
おいしい…れす

はっ

はっ

はっ

おまんこも
あなるも

ドロッ

ドプッ

すぺるまで
いっぱぁい

コトッ

恍惚とした表情で
全て飲み干した

to be continued

すいません。
次こそ完全な形で出します。

FF男男 reunion 02

行/ るきるきEXISS

文月晦日

/ 2010/12/31

/ 有限会社トム出版

※無断転載、複製、データ化の禁止

※１８歳未満の購入、閲覧禁止

http://misoka.net

mail: popjam99@hotmail.com

Circle rukiruki-EXISS Presents

FF男男 reunion 02